

- ✦ 人数を正確に把握して対応する。
- ✦ 5/20 に 2 回目の打合せを大船教会で行う予定。
- (2) 委員長：
 - ✦ 第 5 地区福音宣教委員会報告 (4/30 開催)。
詳細は「委員会後記」を参照下さい。
 - ✦ 小教区における学校の現状と問題点に関していろいろ
提言あり。（教会学校手引書の作成（本は存在する
が具体性に乏しい）、部活への対応など）
 - ✦ 9 月に第 3 回目を行う。
- (3) 典礼グループ：
 - ✦ 5/7 に典礼委員会開催、とくに議題・議案はなし。
意見交換。「侍者グループに大人も入って欲しい」
の要望に対して、侍者グループと要理グループと協働
して対応することとした。
 - ✦ 掲示板の活用、など議論
 - ✦ 以前に加えて皆さんの理解が深まってきた実感あり。
（竹内さん）
- (4) 行事グループ：
 - ✦ ご復活パーティの反省：
 - ◆ おむすび好評。
 - ◆ 量が多かった、油モノが多かった、テーブルクロス
があったらよい、・・・等々
 - ✦ 卵について：配り方に「一工夫欲しい」など。
 - ✦ 反省会では、持ち寄り復活の話もあったが、高齢化も
あってやれない。
 - ✦ 聖週間ミサの開始 7pm は早すぎるという声があった。
いろいろ意見はあるが、来年また同じ時間でやってみる。
 - ✦ バザーは、第 1 回目のバザー準備委員会を 5/28 に行う。
- (5) 広報グループ：
 - ✦ 山崎神父様の追悼号：A3 を折った形の体裁で進める。
- (6) 営繕グループ：
 - ✦ 6/4 にご近所どぶ掃除。
 - ✦ 神父様の食堂の冷蔵庫が壊れた。買い替える。
- (7) その他：
 - ✦ 竹田恭さんの追悼ミサで、ご家族から使い途がわかる
ようにとのご要望で献金を頂いた。建設会計に入れる。
 - ✦ 区民クリスマス-昨年と同じにする(信徒の自主参加)。

委員会後記 委員長 下村 毅

1. 中和田カトリック教会連絡網の整備について
「06 年 4 月委員会後記」に記しました連絡網の整備につ
いては、(案)を聖堂廊下に掲示して皆様のご希望・ご
意見をお伺いしました。その結果が集約できましたの
で、「(新)連絡網」を月定献金袋(または封筒)に入れ
ておきます。なお、連絡網に不具合が生じましたら、「教
会委員」にご連絡ください。
 2. 第五地区福音宣教委員会について
中和田教会の第五地区福音宣教委員会委員は、昨年度ま
で布教委員の竹内さんと、布教グループ石川さんにお願
いしておりました。
今年度から第五地区福音宣教委員は、・7 教会(小教区)
は主任司祭と教会委員長、・7 修道会は代表者になりま
した。第五地区福音宣教委員会の構成は以下の通りです
◆ 教会(小教区)=大船・鍛冶ヶ谷・片瀬・戸塚・中和田・
原宿・藤沢
◆ 修道会=イエズス会(大船修道院)・シャトル聖パウ
ロ修道会・聖心侍女修道女会・聖母訪問会・聖心の
布教姉妹会・マリアの宣教者フランシスコ会・宮崎
カリタス修道女会
- (1) 第一回第五地区福音宣教委員会は、1 月 22 日藤沢教

- 会で行われました。
- 今年度何をテーマに検討するか審議が行われました。
- ◆ 教会外の若者、青年たちとのかかわりを広くとらえ、
「教会として何ができるか」、「自分の教会の若者はど
うか」、「青少年の居場所」、「信仰と若者とのかかわり」
について考えてみることになりました。
- (2) 第二回第五地区福音宣教委員会は、4 月 30 日藤沢教
会で行われました。
- 「小教区における教会学校の現状と問題点」アンケ
ートを教会・修道会が事前に提出し、事務局にて集約さ
れ、その資料に基づき、分かち合いが行われました。
- ◆ 問題点：リーダー(経験)不足：リーダー養成が必要：
高学年になると出席減(中高生は塾・部活等で日曜
日も教会に来られない)となっています。
- (3) 次回は[9 月 17 日(日)]に予定されています。
- ◆ どの教会も同じ問題点を抱えているので、「アン
ケートをどのように生かしていくか」、分かち合うこ
とになっています。

ヨゼフ会だより

< 5 月 21 日(日) 13 名出席 >

- 連絡／報告事項：略
 - 黙想会の計画(提案)：
ヨゼフ会主催で以下の黙想会を計画したい。
 - ◆ 日時・場所：8 月 26 日(土)@中和田教会
 - ◆ 指導司祭：祈りの園 ペトロ神父様
 - ◆ 時間割・内容(暫定提案)：
 - * 13:30-14:00 講話
 - * 14:00-14:15 聖体献示
 - * 14:15-15:15 ミサ
 - * 15:15-16:30 分かち合い@新集会室
 - * まだ時間があるので、さらに検討していく。
 - * 費用などは、「当日献金ベース」で考えていく。
- 主催はヨゼフ会だが、参加を全信徒に呼びかける
- 議論：(話は多岐に渡りましたが、バザーに関連した
議論をいくつかを紹介します)
 - ◆ ヨゼフ会も親睦会となったが、従来バザーで担当し
て来た「やきとり・やきそば・やきいか+飲み物」
をいきなり行事 G に投げるのではなくて、新しい運
営体制に軟着陸させるために協力していく。
 - ◆ どの誰が「仕切る」かは、本質的な問題ではない。
 - ◆ バザーならびにその準備を「新しい方々に参画頂く」
絶好の機会と捉えて、積極的に動くべし。
 - ◆ しからば、具体的に何をどうすればいいのか？
 - ◆ 「広報なかわだ」をより一層活用した方がよい。
- 当番表確認

編集後記

皆様の御協力により山崎神父様の追悼号を無事発行することがで
きました。原稿や写真の御提供本当に有り難うございました。

ところで、今年も我が家の庭にアジサイが咲き始めました。
梅雨から夏にかけて咲くアジサイは、七変化と言われるように、
咲いているうちに徐々に色が変化していきます。そのためか花言
葉は「移り気」です。

アジサイの語源は一説によると、「青い花が集まっている」ので、
集めるの意の「あづ」に青の意の「さ藍」で「アツサアイ」から「ア
ジサイ」となったとのことです。その青いアジサイが欧米に渡っ
て改良され、色とりどりの西洋アジサイが生み出されました。

梅雨という季節、うっとうしい気分ですが、その季節を彩る花を
見て季節を楽しむのも日本の良さですね。(E. I.)



広報 なかわだ

第 324 号

6 月の予定

聖霊降臨	6 月 4 日
三位一体	6 月 11 日
委員会	6 月 11 日
ヨゼフ会	6 月 18 日



聖霊降臨の図



私が絵を描くわけ

主任司祭 鈴木 勁介

「絵を描かれるのですか。いいご趣味ですねえ。」とよくいわれます。神父が絵を描くのは珍しいこと
なので、ごく自然な反応です。でも「余技」のようにいわれると少し考えてしまいます。そもそも司祭
は、いわゆる生産活動に従事していませんし、サービス業に似てはいますが、能力に応じて給料をもらっ
ていません。「おばあちゃんの恋人」「主婦の友」などと冗談をいわれますが、生活費を教会からいただ
いて宣教司牧活動をしています。しゃべること、聞くこと、書くことが中心的で、20 年もやっていると、
口ばかり達者になってきます。バランス感覚の優れた(?)私は、その空しさを人一倍感じるのでしょうか。
司祭としての主要な活動として絵を描くことをますます大事にしています。絵を通して出会う人々
が、絵をみてくださる人々に、「神さまを信じていいんだよ」というメッセージを控え目に伝えていただ
けたら、現代にもっとも相応しい宣教司牧の形だと思っています。

さて、そういうわけで絵の仲間はとても大切な人々
なのですが、どんな仲間がいるか、よく一緒にスケッ
チに行く人々を紹介しますと、

師匠は私の中学時代の恩師なのですが、天才的に平
易な絵を描く方で、初心者がその絵をみれば「あゝ、
私にも描けそうだ」と思い、熟練者がみれば「あゝ、
とてもこうは描けない」と思うようです。一家に一枚、
平和な心を取り戻したり、子どもの教育のために掛け
ておきたい絵です。

K 氏は絵もうまいが、ことば遊びもうまい人で、近
頃の名言は「杏より梅が易し」(案ずるより産むが易し)
といいながら、また梅の咲き方が足りないと「梅よ増
せよ」(産めよ増やせよ)といいながら描きます。食事
のときには「柚よりすだち」(氏より育ち)とないものねだりをします。

T 氏は私が司祭職に行きづまっていたときに、絵を描くことを勧めてくださった、洗礼の代父でもあ
りますが、奥様の好みを大事に絵を描く方です。ちなみに、できあがった絵をご覧になってよい絵のとき、
奥様は「これ私にちょうだい」とおっしゃるそうです。気に入らないと「いつか掛けましようね」とおっ
しゃるそうです。いいご夫婦ですね。

W 氏は言いたいことを言っているようなのに、憎めない魅力のある人で、人のために進んで損をし
たり、励ましたりできる人間らしい人です。

T 女史はよくしゃべるのに、人の話もよく聞いて、うるさく感じさせない頭の良い人で、絵にもそれが



「雲の舞」第 67 回一水会展 (2005) 佳作賞

(次頁に続く)

表われる人です。「まじめだなあ」といわれるのが少し嫌いな人のようです。ハッと気づくと姿が見えない。大きな溝に落ちていたというそそかしい人でもあります。

A 女史はデザインのお仕事をしていた方で、アフリカに動物写真を撮りに行ったり(素晴らしい腕前)、スキューバ・ダイビングをしたり多才な方で、習い始めて数年で100号の絵を描くようになったがんばる人です。

M 女史はスケッチグループのアイドル的存在で、おバカさんを演じられる賢い人ですが、夕食をとりながら眠ってしまうこともある不思議な人です。

毎年1月にこの他の仲間とも一緒にグループ展をしています。このグループの絵をご覧くださいと何かを感じられると思うのですが・・・。



勝ちゃんの思い出

岩崎 好愛



先日、すっかり成長した勝ちゃんに思いがけず出会った。今、ある作業所に元気で通っているという。10年前、私が自宅でささやかな学習塾を開いていたときに通ってきていたダウン症児の勝ちゃんである。照れくさそうに、でも憶えていてくれて下向きかげんにペコリと頭をさげてくれた。ふとなつかしくなって、その頃書き留めておいた文章を開いてみた。

「せんせい こんにちは!」

言葉ははっきりしないが、元気のよい声が教室中にひびきわたる。勝ちゃんのお出ましである。途端に教室に居る生徒たちに「勝ちゃんだ!」の声が広がる。

勝ちゃんはダウン症児である。この四月から四年生になる。両親の希望で、特殊学級ではなく健常児たちと一緒に普通クラスに通っている。聞くとところによると、彼は学校中の人気者らしい。それほど彼の表情と動きは人の心をやさしくし、あたたかくする。

授業中の彼は、みんなの机の間を歩きまわり、やたらとみんなの机の上にある物に触れたり取り上げたりするという。ふつうだったら邪魔な存在になりかねない彼なのに、教室ではみんなに温かく受け入れられているという。彼の表情とか動作がいかに純真無垢で、子どもたちはそれを色眼鏡を通さない純粋な目で見ているのだろうと思う。

「勝ちゃん、ここにおいでよ」と側の席に招く子ども、「先生、勝ちゃんがね、今日〇〇くんの給食の牛乳飲んじゃったんだよ」とか、「勝ちゃん踊りが上手いんだよ」と学校での彼の様子を伝えてくれる子どもたち。けれども、勝ちゃんは、自分のことを言われているのに何も気づかないらしく、ただニコニコしながら、私が次に言うことをジッと私の顔を見て待っている。この「ニコニコ」が彼に与えられた神様からの贈り物。はなくそが付いていても、よだれがあふれていても、目を三日月様のようにして笑っている。不思議ときたないという感じがしない。人懐かしげなその表情が、周りのみんなに親しみを抱かせてしまうのかもしれないと思う。

学校ではみんなと同じには学習できなくても、私の教室では、集中できなくてしばしばキョロキョロしたり、動きまわったりしながらでも〇を数えたり、数字の練習をしたりして楽しそうにしている。そして、時々彼は突然踊り出すのである。音声とうまく出せないのも、身振りだけであるが、そのしぐさがまた可愛い。おそらく学校で体育の時間などにみんなと踊ったことが楽しかったのであろう。周りのみんなもひととき手を休めて見入ってしまう。みんなの顔もニコニコである。この可愛いしぐさもまた神様からのもう一つの贈り物。

こうして勝ちゃんは、自分では気がついていなくても、見事に人の心をつかんでしまっている。

「ありがとうございました! さようなら!」ダウン症児独特のふっくらしたやわらかい手をバイバイするように振りながら、勝ちゃんは元気に一人で帰っていく。



行事より報告 山本 委員

5月28日 バザー委員会を開催しました。

バザー券の景品を御寄付御願います。

新品不要品も集めます。

6月25日 古着の販売を致しますので、不要になりました衣類などございましたら御寄付御願ひ致します。集会室の箱にお入れ下さい。

06年4月委員会後記 委員長 下村 毅

1. 中和田カトリック教会委員会運営規定一部変更審議内容と結果

「06年1月委員会後記」で記したとおり、従来の教会運営規定は、組織として信徒総会・委員会・ヨゼフ会・マリア会で構成されていました。今回、マリア会の解散とヨゼフ会は親睦会となりましたので、「委員会運営規定」とし信徒大会(1月22日)でご説明いたしました。その時点で、次のご意見をいただきました。

一点目は、教会委員選出の件で「(主任司祭権限)を明らかにした方が良い」。

二点目は、「信徒大会の意義を明確にした方が良い」2月・3月・4月の委員会で審議し、(ご意見を入れて)修正いたしました。

この規定改訂版は、教会事務室内の「中和田教会ファイル」に保管してあります。

2. 葬儀取扱規定改定審議内容と結果

(1) 連絡網の整備

「06年2月委員会後記」に記しました連絡網の整備(旧マリア会・ヨゼフ会連絡網の統合)については、2月・3月・4月典礼委員会で見直し検討され、4月委員会に提案されました。審議結果は、連絡網(案)を掲示して各信徒の希望・意見を反映して、早い時期に確立することとしました。

(2) 葬儀取扱規定について

当教会の葬儀についての「規定」については、平成15年に壮年会(ヨゼフ会の前身)より、「世代交代も行われている中で、たとえ識者が居られなくても、葬儀のお手伝いをするには、何か取決め(規定)を作ることが必要だ」との提言があり、平成16年4月4日に「中和田カトリック教会葬儀取扱規定」が制定され、(平成17年2月に一部改正)し、現在に至っております。そして今回のマリア会の解散、ヨゼフ会の親睦会化により、葬儀取扱規定の改定が必要になり、2月・3月・4月典礼委員会にて検討し、4月委員会にて承認を得

ました。審議結果は、教会委員委員長を中心とした「葬儀掛」と、典礼委員を中心とした「司式掛」が協力しあい、葬儀手伝いをする規定としました。この規定改訂版は、教会事務室内の「葬儀取扱規定ファイル」に保管してあります。

委員会だより

< 5月14日(日) 9名出席 >

■ 行事報告: 略

■ 行事計画

✦ 6/4: 第5地区の地区別懇談会。テーマは「教会の将来をどのように考えていくか?」

✦ 6/11: 堅信式 @ 藤沢教会

■ 審議事項

(1) 教会連絡網:

✦ 連絡網修正を締切った。意見も頂いた。

✦ 修正、部数作成は岩淵さんが担当。

✦ A3 1枚(両面)で印刷。配布は月定献金袋・または封筒に入れる。

■ 各委員/グループ報告

(1) 要理グループ:

✦ 5/2-3 井上さんが合宿研修に行ってきた(司祭、修道者、信徒の交わり)。総勢26名(神父2名、シスター3名、女性信徒は4名、男性信徒は13人、事務局4人)

✦ 5/21 湘南台公園にミサ後遠足に行く

✦ 5/22 お母さん方との要理打合せ

✦ 5/13 に松原教会の要理研修に行ってきた

✦ 一粒会と神学生と子ども達の交流会

✦ 5/9 に1回目の下打合せ(鍛冶ヶ谷、藤沢計4名にて)

✦ 8月6日に行う。中和田はたまたま子どもミサの日なのでそのままの形でやる。聖歌オルガン、歌は中和田で担当するが、侍者、先唱などは分担してやる。

✦ 履物(上履き; 安全の意味で運動靴推奨)持参、ならびにゴミの各自持ち帰りをお願いする。

